



目次

- 2 岩手県住宅復興の基本方針を策定
- 3 スカイフェスタ 2011 を開催
- 4 岩手県東京事務所が移転
- 5 平成 23 年度県土整備行政の概要を発行
- 6 県民ゴルフ場 11 月からの特別料金のお知らせ
- 7 下水道ふれあい展のお知らせ

美しい 県土づくりNEWS

2011 年
10 月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第 87 号
平成 23 年 10 月 26 日発行
編集 県土整備企画室



黄金の國、
いわて。

「きよひらくん」
「平泉の文化遺産」の理念普及
のために実施している紙芝居「みんな
なかよひらいずみ」のキャラクター

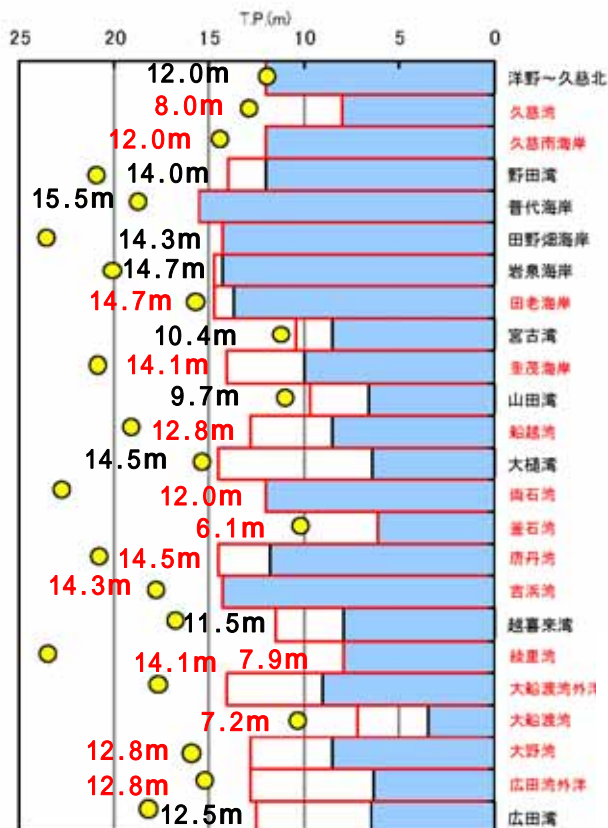
岩手県沿岸の海岸堤防高さを設定！！

～ 多重防災型まちづくりに向けて ～

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災津波(平成 23 年東北地方太平洋沖地震及び津波災害)から 7 ヶ月余りが経ちました。

県では、今後の津波対策について「岩手県津波防災技術専門委員会(委員長:堺茂樹岩手大学工学部長)」を設置して検討を進め、岩手県沿岸を 24 地域海岸に区分し、9 月 26 日に広田湾(陸前高田市)などの 10 地域海岸の堤防高さを設定したところですが、残る 14 地域海岸について、10 月 20 日に堤防高さを設定し公表しました。

今後は、設定した堤防高さを踏まえて、多重防災型まちづくりの基礎となる海岸堤防の早期復旧を推進していきます。



□ 設計津波による計画堤防高 (今回設定)
■ 被災前計画堤防高
● 今次津波襲撃高 (堤防付近で測定)

※今回決定分 (H23.10.20) : 朱書き (14 海岸 / 24 海岸)
※前回決定分 (H23. 9.26) : 黒書き (10 海岸 / 24 海岸)

岩手県住宅復興の基本方針を策定しました！

～ 被災者の生活の安定と住環境の再建等への支援に向けて ～

建築住宅課

県では、東日本大震災津波の被災者の皆さんが安全に安心して暮らせる住環境を構築するため、平成23年10月5日に**岩手県住宅復興の基本方針**を策定しました。

基本方針の期間

岩手県復興実施計画と同様に**平成23年度～平成25年度を基盤復興期間**、**平成26年～28年度を本格復興期間**とします。

特に**災害復興公営住宅**については、**できる限り基盤復興期間に完成**させ、市町村の復興まちづくり事業と合わせて行うものなどについては**本格復興期間の早期完成**させることを目標とします。

復興住宅の供給計画

1) 当面の間の被災者向け住宅

応急仮設住宅	約14,000戸
借上げ民間賃貸住宅等	約4,500戸

2) 恒久的住宅の想定供給戸数

公営住宅	4,000～5,000戸	災害復興公営住宅及び一般公営住宅(県営及び市町村営)
民間持家住宅	9,000～9,500戸	一部住宅の改修を含む。また、新規供給にはマンション等中高層住宅を含む
民間賃貸住宅等	3,000～3,500戸	既存の賃貸住宅を含む



供給方針

- 1) 防災性・耐久性を高める住まいづくり
- 2) ひとにやさしい住まいづくり
- 3) 多様なニーズや地域性に配慮した住まいづくり
- 4) 環境に配慮した住まいづくり
- 5) 福祉部局等との連携



住宅供給に向けての対策

- 1) 応急仮設住宅の活用
- 2) 民間持家住宅及び民間賃貸住宅の建設促進
- 3) 災害復興公営住宅の整備



岩手県住宅復興の基本方針の詳細については、こちらの県土整備部HPをご覧ください

<http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?nd=4266&of=1&ik=3&pnp=66&pnp=4266&cd=35093>

いわて花巻空港

スカイフェスタ 2011 を開催しました！！

空港課・花巻空港事務所

「空の日（9月20日）」を記念し、10月2日（日）に「**いわて花巻空港スカイフェスタ 2011**」を開催しました。平成6年度に花巻空港開港30周年記念事業として初めてのスカイフェスタを開催してから今回で18回目の開催となり、国（航空局、気象庁）、県、民間（航空会社、ターミナルビルなど）の空港関係者はもとより、利用促進に取り組む地元花巻市、花巻商工会議所、利用促進協議会、さらに花巻空港整備工事等の建設会社、空港周辺の地域の人々が協力し、官民一体となって実施しました。

当日は、午後から雨が降り出すあいにくの天気となりましたが、アクロバット飛行、空港用化学消防車や防災航空隊の防災ヘリによるデモンストレーション、滑走路走行バスツアーのほか、国内就航地PRコーナー、県南広域振興局による「平泉の文化遺産」PRコーナーなど様々なイベントを開催し、8,523人もの大勢のお客様で大いに賑わいました。

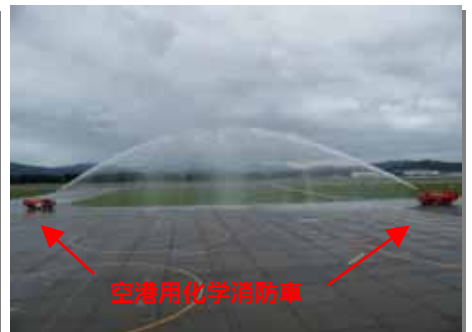
本イベントの開催などを通じて、いわて花巻空港が皆さまから親しまれ、地域とともにより一層発展する空港となるよう努めて参りますので、ご旅行・ご出張などの際には、いわて花巻空港を是非ご利用ください。



日本が誇る世界のエアロパティックスパイロット
室屋義秀氏によるアクロバット飛行



防災ヘリによる防災航空隊
救助デモンストレーション



空港用化学消防車による
放水デモンストレーション



滑走路走行バスツアー
(滑走路を時速100kmで走行)



小型航空機搭乗体験コーナー
(航空機を間近から見学)



「平泉の文化遺産」PRミュージカル
(ステージイベント)

「空の日」とは??

日本の航空活動は、日野・徳川両陸軍大尉が初飛行を行った明治43年（1910年）から始まっています。

それから30年目の昭和15年（1940年）に、日本の航空の歴史を記念し航空思想の高揚と航空技術の振興を図り、航空日本の将来の発展に努めるための国家的行事を実施すべきとの意向が航空関係者の間で強く要望されました。そのため、9月20日を「航空日」とすることが制定され、その後、民間航空再開40周年にあたる平成4年には、よりソフトな呼び方の「空の日」と呼ぶこととし、併せて「空の旬間」を設けて各種記念行事が行われています。

岩手県東京事務所が移転しました！！

岩手県東京事務所

内閣府の新庁舎整備計画に伴って、千代田区永田町にあった岩手県東京事務所が平成23年10月3日に移転しました。

旧東京事務所があった場所は、昭和25年3月に鳥取県から取得したもので、当時、周辺は三年町と言われ、本県出身の米内光政元総理大臣の邸宅に近接していた所でした。

国会議事堂にほど近く、南門から徒歩1分、衆参の国会議員会館へも徒歩約5分、霞ヶ関の中央省庁へも徒歩約10分という好立地で、国への要望や各省庁への会議等の拠点としても活用されました。

新しい東京事務所は、中央省庁や関係諸団体等との連絡などの業務を行う総務行政部が千代田区平河町にある都道府県会館15階へ、岩手県の観光の紹介や企業誘致等の調査、情報収集などの業務を行う企業立地観光部が中央区銀座にある岩手県のアンテナショップ『いわて銀河プラザ』の南海東京ビル1階へそれぞれ移転し、新たなスタートを切りました。環境は変わりましたが、今後とも東京での情報収集や観光振興などの業務を推進していきます。

総務行政部



企業立地観光部

いわて銀河プラザ(南海東京ビル1階)



平成23年度県土整備行政の概要を発行しました！

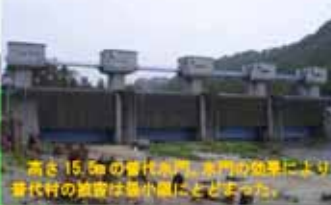
～ 我が県土 ともに支え育む 希望郷 ～

県土整備企画室

東日本大震災津波への対応により発行が遅れていましたが、平成23年9月30日に平成23年度県土整備行政の概要を発行しました。今年度の県土整備行政の概要は、東日本大震災津波に対するこれまでの県土整備部の対応状況や、岩手県東日本大震災津波復興計画の概要、県土整備部の予算・組織などをわかりやすくまとめているので、是非ご覧ください。

平成23年度 県土整備行政の概要

「安全」の確保 防災のまちづくり



高さ15.5mの管柱水門。水門の効果により、菅代村の被害は最小限にとどまった。

「安全」の確保 交通ネットワーク



東日本大震災津波（週間倉くま）に閉鎖した三陸経貿自動車道並石山田道路、避難や緊急物資等の輸送道路として有効に復旧した。

いのちを守り

海と大地と共に生きる

ふるさと岩手・三陸の創造

暮らしの再建 生活・雇用



被災者の生活再建に向け、8月11日までに応急仮設住宅13,984戸が完成。

岩手県 県土整備部

II 県土整備部の東日本大震災津波への対応状況等

県土整備部では、東日本大震災津波による災害発生直後から、道路の管制や、河川、海岸、港湾、河川敷整備等の応急的な復旧、応急仮設住宅の建設等の対応を行うとともに、復興に向けての道路計画や復興、まちづくりのグランドデザイン、復興計画の内容等を示した「岩手県東日本大震災津波復興計画」の策定を進め、復興計画の策定を支援し、計画の進捗と対応の進捗を把握する等、復興計画の進捗に向けたまちづくりなどについて積極的な支援を行っています。

また、被災地の復旧・復興に向けたことは、国策プロジェクトとしての国の全体的な支援が必要不可欠であることから、必要な国策の復旧や復興、対応計画等の進捗の支援を行っています。

今後とも、被災地の早期復旧・復興に向けた取組を全力で推進していきます。

1 公共土木施設災害等に対する主な対応状況

(1) 道路

東日本大震災津波では、県管轄の国道、県道 50 路線 65 箇所が全面通行止めとなりましたが、国土交通省の「くしの橋」作戦と連携した道路復旧や、応急工事等の実施により早期の交通確保に努めてきました。

沿岸部の基幹道路である国道 45 号は、津波により陸奥高田市の復旧大橋等が被災しましたが、7月10日の復旧の完成により、全線の通行が可能となりました。

また、地震により地盤が低下し、高層等による漏水が発生する道路については、急激的に道路の復旧を進めるなど、交通の安全確保に取り組んでいます。

4月7日に発生した宮城県沖を震源とするマグニチュード 7.1 の地震では、奥州市の国道 397 号小幡水門、国道 343 号岩手県道の岩手県道や一関市の国道 342 号下高坂、国道 457 号中大森等の法面崩壊による全面通行止めなど、内陸部の道路を中心に被害が広がりました。

東日本大震災津波による全面通行止めは、9月28日現在で2路線2箇所となっていますが、今後とも、早期復旧に向けて取り組んでいます。

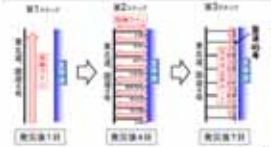


図2-1 「くしの橋」作戦による三陸沿岸地区の道路復旧・復旧
平成23年度 岩手県 県土整備行政の概要

IV 県土整備部の予算

1 一般会計予算と普通建設事業費の推移

図27-1 一般会計予算と県土整備部一般会計予算の推移

区分	2012	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
一般会計予算	9,000	8,841	8,221	7,401	7,286	7,111	6,939	6,584	6,300	6,000	6,000
一般会計予算	1,300	1,264	1,187	1,015	1,000	935	887	830	827	730	688
普通建設事業費	1,267	1,112	900	784	875	743	681	616	614	540	481
県土整備部一般会計予算	170	150	140	127	120	122	120	120	120	120	120
普通建設事業費	84.1	81.5	78.0	72.0	78.0	78.4	74.0	70.0	74.0	72.4	71.0

注1 令和4年度～令和5年度は、令和4年度最新推計
注2 平成23年度は、一般会計予算と普通建設事業費の推定値
注3 普通建設事業費は、普通建設事業費のうち、一般会計予算による普通建設事業費を指す
注4 「平成23年度」は、令和4年度に相当する

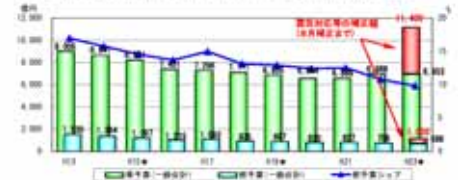


図27-1 一般会計予算と県土整備部一般会計予算の推移

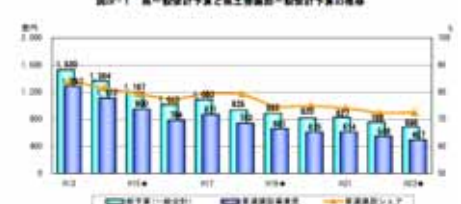


図27-2 県土整備部一般会計予算及び普通建設事業費の推移

「平成23年度 県土整備部の概要」の詳細は、こちらの県土整備部 HP をご覧ください
<http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?nd=2158&of=1&ik=3&pnp=66&pnp=2156&pnp=2158&cd=34898>

県民ゴルフ場 **11月からの特別料金**のお知らせ

都市計画課

県民ゴルフ場は 11 月からさらにご利用しやすい料金となりますので、雪のシーズン前、ご家族・ご友人とゴルフを楽しんでみてはいかがでしょうか？

県民ゴルフ場は積雪によるクローズまで営業します。たくさんの皆様のご利用をお待ちしています。

11月からの特別料金 (18H、手動カート・利用税・保険込)

	一般	60～64歳	65～69歳	小学生 中学生	高校生
平日	3,000円	2,500円	1,800円	100円	100円
土日祝	4,000円	3,500円	2,800円	100円	100円

電動カート使用料は別途料金となります。

18歳以上の高校生は500円となります。

ゴルフセット無料貸出中



詳しくは、**県民ゴルフ場**までお問い合わせください。

【TEL】 0198-27-3280

【HP】 <http://www.echna.ne.jp/~suposhin/>

下水道ふれあい展を開催します!!

下水環境課

きれいな水を未来まで

下水道 ふれあい展

平成23年 **10月29日(土)**

10:00 ~ 15:00

一関浄化センター

入場無料
記念品プレゼント

- 施設見学
- 下水道すごろく
- 微生物観察
- クイズ
- パネル展示
- 下水道アニメ
- バルーンアート



お問い合わせ先：一関市上下水道部下水道課
電話 0191-21-2111 (内線 8584)

共催：一関市 公益財団法人岩手県下水道公社